ひだまり

2026.10.16　№14

＜協同性・言葉による伝え合い編＞

運動会では、子どもたち一人ひとりがそれぞれのクラスで精一杯頑張る姿を見ることができました。各クラスがダンスを踊っている後ろで一緒に踊ったり、くま組の「ケセラセラ」の曲を口ずさむこどもたちもいました。戸外あそび中でも、リレーやダンスが始まると土管山に登りいつも応援していました。他のクラスのダンスやバルーンも、一緒に踊ることができるほど、自分のクラスのことだけではなく運動会そのものを思いっきり楽しめたのではないかと思います。そして、異年齢への憧れや、思いやりの気持ちも運動会を通して感じることができたように思います。

☆異年齢で取り組む造形あそびについて☆

さて、運動会が終わり、達成感いっぱいの子どもたち。次は自分たちが住んでいる豊能町について考えてみようとそれぞれのクラスで話し合いました。

くま組は能勢電車、ぱんだ組は消防署、きりん組は自然について意見を出し合いました。クラスでも色々な意見が出ましたが、自分たちのクラスだけではなく、くま、ぱんだ、きりん組みんなに話をしてみようということになりました。

そこで、プレゼンをすることに！
それぞれのクラスで話し合ったことを、るんるんタイムで発表しました。他のクラスの子どもたちは興味津々に聞いていました。

これから、それぞれのクラスのプレゼンを聞いた子どもたちは、興味をもったことについてさらに調べたり、作ってみたり、考えを出し合って造形活動を楽しんでいこうと思います。

運動会の綱引きでペア活動や異年齢交流を深めることができたので、この機会にペアで話し合いどんな活動がしたいかなどやりとりを深め、造形あそびを楽しんでいこうと思っています。

どうやって自分のしたいことを相手に伝えて決めるのか？同じ意見どうしでやりたい活動がすぐに決まるのか？それぞれのペアでどのような話し合いになるのかとても楽しみです。

ご家庭でも話し合いの様子、聞いてみてくださいね。

プレゼンってドキドキするね！





